

コーディネーターだより

NO.3
2024. 8. 26

夏休みが終わり、2学期が始まりました。暑さに負けそうになりながらも、登校してくる子どもたちの笑顔から、元気もらっています。友達に会えてうれしい、先生に会えてうれしい、みんなと一緒に学習できて楽しい、そのような時間を実感しながら過ごせるといいな…と思います。

今回は、神戸親和大学の瀬戸山悠先生の公開講座「発達段階に応じた『性』との付き合い方」から、一部を紹介させていただきます。子どもからのドキッとするような質問に、どう答えるべきなのか。言葉にしにくいことを、分かりやすく言葉にしてくださった講義でした。

発達段階に応じた『性』との付き合い方

「子どもの発達・成長を喜ぶ」という自然に抱くはずの感情ですが、「性」が関わり、「ためらい」の感情に変わってしまいます。内から湧き出たものであれ、外部からの刺激に反応したものであれ、発達段階に応じて「性的言動」を表出させます。性に対する価値観は、人によって違いますが、価値観ではなく、科学的に教える必要があります。

からだの特別な部分（プライベートゾーン）

幼い時から自分のからだの大切さ、プライベートゾーンは特に大切な部分であると教えることは、性被害を受けないための予防になります。また、被害を受けそうになったら大声を出して逃げる、被害を受けてしまった場合は、きちんとそのことを大人に伝えられるようにすることも大切です。

★ 保護者が意識して線引きすることも重要（おふざけでおしりを触ったりしない）

⇒プライベートゾーンを勝手に見たり触ったりするのは「好き」の表現だと教えてしまうことになりかねない（将来相手の気持ちとは関係なく、「好き」の表現として触ってしまい問題に…）

★ プライベートゾーンへの不本意で理不尽な侵入や攻撃は想像以上に深刻な屈辱感やコンプレックスを与えることになる

⇒生活の中で繰り返し伝える

「大切なところだから自分でやさしく洗ってね。」

「大切なところを傷つけないようにパンツとシャツでくるんであげよう」

（母親の胸を触った時）「おっばいは大切なところでしょう。人を触ってもいいの？」

「おしりは大切なところ。人には見せないよ」

「スカートやズボンの中は大切な場所だからね」（絶対にめくらない）

2学期のカウンセリングの予定

カウンセリングと聞くと、少し身構えてしまいがちですが、心がモヤモヤする、状況を整理したい、ちょっと話を聞いてほしい等、気軽にお申し込みください。

相談を希望される方は、担任またはコーディネーターまでお知らせください。

【来校予定日時】

9 / 2 (月)	9 : 00 ~ 13 : 00	11 / 15 (金)	9 : 00 ~ 13 : 00
9 / 25 (水)	9 : 00 ~ 13 : 00	12 / 16 (月)	13 : 00 ~ 16 : 00
10 / 18 (金)	13 : 00 ~ 16 : 00		

※ 予定変更がある場合は、保護者連絡帳でお知らせいたします。

